

(第三種郵便物認可)



活動のようす

結果を子どもの視点・意見・感性によって模造紙上の地図「ぼうさいマ

「命を守る」をテーマに

「ぼうさい探検隊」へ支援活動

大分県代協

大分県代協(町田直子会長)は7月26日、大分市の吉野校区児童育成クラブの児童たちによる「ぼうさい探検隊マップコンクール」のマップ作成や探検隊の取組みの支

援活動を行った。「ぼうさい探検隊」は損保協会が推進する教育プログラム。小学生などがグループになり、自分たちの住む町を探検し、身近にある危険な場所や防災施設・設備などを実際に見て回り、その結果を子どもの視点・意見・感性によって模造紙上の地図「ぼうさいマ

ップ」にまとめ、グループごとに発見したことや気付いたことなどを発表しあう。当日は、育成クラブ参加児童25名、職員3名、大分県代協関係者4名が参加。児童は3グループに分かれ、「命を守る」をテーマに危険な場所や安全な場所を探すために歩き、写真撮影しながら

ち目線での災害の意識が確認できたことは大変貴重な経験だった」とコメントした。

た避難行動計画ツール「大分市マイ・タイムライン」を活用し、家庭で避難レベルの確認と、その際の対応方法を親子で考えた事前宿題をまとめたり、地震が起きた時の対応法もマップに作成したりもした。児童たちの活動を支援した大分県代協は「災害に対する防衛意識の高い協会員が子供たちの交流の機会を通して、子供た

備ができているのか」といった質問を次々と投げかけていた。また、大分市が作成した避難行動計画ツール「大分市マイ・タイムライン」を活用し、家庭で避難レベルの確認と、その際の対応方法を親子で考えた事前宿題をまとめたり、地震が起きた時の対応法もマップに作成したりもした。